

「城南中学校【寄り添い・見守りストーリー】3部作（実話です!）」

校長 赤木 完治

「お手紙ありがとう!」見守り①

先日、本校生徒の祖母と名乗る方からお手紙をいただきました。内容は、「私には城南中に2名の孫が通っています。その孫が、毎日本当に楽しそうに学校に行く姿を見たり、学校の様子を聞いたりすることは、私の心からの楽しみです。学校の先生方には、日頃から、子どもたちに寄り添う教育を実践していただき、心から感謝しています。」という内容が書かれていました。本当にありがたいことです。「いくら落ち着いている」「いい学校だ」と言われても、成長期の子どもたちへの寄り添いは多難です。でも、だからこそ、必ず乗り越えて生きる力を育まねばなりません。この「個に寄り添い、健全な生徒の育成」を確実に推進していくためには、学校・行政のみならず、PTAをはじめとする保護者・地域の皆様のご理解とご協力は欠かせません。このお手紙は、本校職員にとって本当に心強い限りです。蛇足であります。私にも遠郷に住む4人の祖父母が、本当に孫の私をかわいがってくれました。しかし、ちょうど私が外国での仕事に従事していて帰国できず、最期に逢うことはできませんでした。でも、あのやさしい祖父母のまなざしは、今でも忘れていません。「この温かい眼差し・見守り」こそが、多感な子どもたちへの「大事な道しるべ」となることを実感しています。今後も、様々な声を大切にしたい教育活動に尽力します。

【交通標識のお話・岩槻警察署】見守り②

皆さん、お気付きですか？本校の正門前に「横断歩道の標識」があります。管轄は、岩槻警察署。日頃から県民の安全のために、お仕事を頑張ってくれている機関です。実は、私の亡くなった父も、警察関係の人間でした。だから小さい頃から、その仕事の多様性や困難性は体感

していました。先日、本校正門前にある横断歩道の標識が、なぜかかなり曲がって、斜めに立っていました。子どもたちに自転車をはじめとする安全教育を推進している真ん前の場所の標識なので、担当部署にお願いしたところ、すぐに対応してくれて、今ではきれいにまっすぐ！この当たり前がなかなか難しいのが現状。「あれ？真っ直ぐに戻ってる！」帰りの下校指導で気がついた生徒が言いました。このように、子どもたちを見守る地域の輪は、多方面にわたります。ありがとう！

「城南中チャレンジスクール」見守り③

本校では、学校地域連携コーディネーターが中心となり、『年間18回』にも及ぶ土曜チャレンジスクール「JCS」が実施されています。そこでは、たくさんの地域の有志の方々が先生になり、子どもたちに学習指導補助等をしてくれます。先日、こんな伝言をいただきました。「校長先生の学校通信をいつも読んでいます。本当に子どもたちに寄り添ったお考え・お話に心から感心しています。」という有り難い励ましのお言葉でした。その方は、校長経験者で私の大先輩とのこと。本当に、ありがとうございます。これからも、本校「見守り活動」にご助力ください！

29年度城南中校区「避難訓練」実施!

先日11月26日(日)に、城南中学校区の「地域避難訓練」が実施されました。当日は、他の社会教育団体の本校活用日でもあり、大盛況の中での訓練でしたが、担当の市役所・関係自治会の方々には、臨機応変に対応していただきました。今年は、おとなりの姉妹施設「どうかん」さんも、多数のご参加・体験をしていただきました。学校は、地域あってこそその施設です。今後も更なる「地域・保護者・学校の力」を結集し、本校教育活動の充実を図っていきます。来年もよろしく！